



田中 徹 教授が地域連携型佐賀大学公開講座（有田町）にて講義

【概要】

電気電子工学部門の田中 徹 教授が、2022年8月22日（月）に有田町生涯学習センターで開催された地域連携型佐賀大学公開講座（有田町）にて、「これからのエネルギーとの付き合い方」というテーマで講義を行いました。

【本文】

地域連携型佐賀大学公開講座（有田町）は、佐賀大学と有田町が連携して、大学の専門的な教育や研究の成果などを広く地域社会へ公開することを目的に、有田町公民館・有田町教育委員会の主催で年に2回開催されています。

今年度の第1回が2022年8月22日（月）に有田町生涯学習センターにて開催され、電気電子工学部門の田中 徹 教授が、「これからのエネルギーとの付き合い方」というテーマで1時間30分の講義を行いました。

講義では、普段使っている電気がどうやって作られているか、日本・世界・九州で発電されている電力の内訳や推移、化石燃料の問題、脱炭素化に向けて期待される再生可能エネルギーの現状と導入拡大に向けた課題、電気自動車の可能性などについて、スライドを使って説明がなされました。

参加者は16名で、講義終了後には多くの方から質問があったことから、エネルギーについて興味を持って聞いていただいたことが窺えました。



公開講座の様子